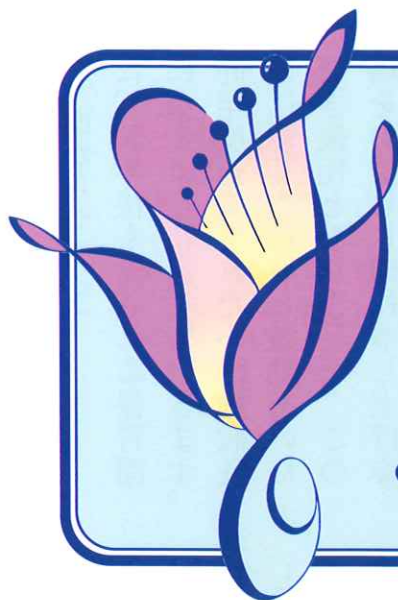


自分自身を愛するように隣人を愛しなさい。(レビ記 19-18)

人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。(マタイ 7-12)



ひびきあい

# HibikiAi

聖ヨハネ学園だより

発行：聖ヨハネ学園 〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1 TEL&FAX072-687-0548

## 打てば響く施設を目指して



下田部保育園  
施設長  
大西 玄樹

少子化、感染症の蔓延、急速なICTの普及など今までの当たり前が日々変化しています。この社会情勢の中で保育園は変革期に入ってきたと思います。2020年ごろまでの保育園のニーズは上昇傾向でありました。しかし2040年ではほぼ横ばいになるといった論文も発表され、また2040年以降に幼稚園が半分になる可能性があるとも言われています。認定こども園や小規模保育園の増加により、保護者が各施設を選択する時代です。この時代の変化をチャンスとして

保育の質・職場の質の向上の契機と捉え、職員一丸となり変革していきたいと思います。

昨今、保育では主体性・コミュニケーション能力・忍耐力等の非認知能力を育てることが重要とされています。「子ども達にたくさん経験をさせてあげたい」から「子ども達が主体的に、意欲的に取り組もうとする気持ち」を大切に「保育」に変化しつつあります。そのことから今年の園のテーマは「やってみようSDGs」となりました。

例えば、5歳児ではじゃがいもや苺を毎日水やりして育てています。大きなこのほりにもSDGsのキヤラクターである水の妖精「アオ」と光の妖精「キイ」を描いていました。食育では筍の皮むきをして給食作りを体験。翌日、粘土で筍を友達と作る子どももおり、遊びの中に子どもの学びがありました。3歳児では「もったいないばあさん」の絵本に興味を持ち口癖で「もったいない」という子どももいます。保育園として子ども・保護者・地域が各々輝いていけるよう寄り添っていき、お一人おひとりの「いのちが かがやく」施設になるよう努めていきます。

最後にコロナ禍ではありますが50周年記念のタイムカプセル埋設式も、無事に終えることができ、2022年の5月1日に51年目を迎えました。51年もの間、この地域の保育を支えてきてくださったのは民生委員や地域の方々の力があってこそだと思います。関係者の皆様の温かい思いを大切に

(2面へつづく)

(二面からつづく)

に、50年後も愛される保育園になるよう精進していきます。昨年度退職された小池施設長には多くの指導と激励をいただき後任となりました。この場をお借りし御礼申し上げます。これからも謙虚な姿勢と探究心で進んでいきます。

◎今号では、「うちの施設自慢」をテーマに、現場スタッフに聞いてみました。

## 聖ヨハネ学園

児童養護施設聖ヨハネ学園の自慢できるところは、大きなグラウンドがあるところです。グラウンドには、

バスケットボールのリングとサッカーゴール



と遊具があります。お天気の良い日は、子ども達が元気にグラウンドで遊んでいます。毎年子どもの日には、行事としてこのグラウンドを使ってBBQをしています。子ども達の前で美味しいお肉を焼いて、その場で食べるのができるのも、毎年子ども達も楽しみにしています。

広いグラウンドを活用して、学園では、野球チームやフットサルチームを作って、大会にも出場しています。フットサルでは、令和元年大阪府児童福祉施設スポーツ大会で、近畿2位になりました。

今はコロナで大会はありませんが、コロナ禍の前は、職員と子ども達が一緒に練習をしていました。職員と子ども達が同じ目標に向かって、楽しいことやしんどいことを一緒に分かち合えることもヨハネ学園の自慢のうちのひとつです。

## 下田部保育園

下田部保育園は『子どもが夢を持てる』が自慢です。コ

ロナ禍になり、多くの行事が中止となり、子どもたちの経験の場が減ってしまいました。そんな中、職員は子どもやってみたい想いを実現したいという気持ちから、コロナ禍の中でもたくさんの方々の行事をおこなってききました。

実施するにあたり、感染を防ぐ為にはどうしたら良いかを職員で話し合いを何度も重ね、昨年度は「こいのぼりフェスタ」が中止になった為、

園庭に大型こいのぼりを飾り、「下田部こいのぼりフェスタ」を開催しました。子どもたちや多くの保護者に見てもらうことができ、こいのぼりを見上げ、手を伸ばして喜ぶ子どもたちの笑顔が溢れる行事となりました。



このように新しい行事の実施の仕方を工夫しながら、コロナ禍で中止になっていたチャプレンタイムも再開しました。日々の保育の中では、安全の提供の他、子どもと深く関わる目的として、食事や活動を2チームに分ける等、多くの新しい取り組みに挑戦しています。

## ミス・ブール 記念ホーム

ミス・ブールの自慢の一つは、職員全員がご利用者との関わりを大切に考えていることです。

ご利用者との日々の関わりは当然ですが、その中でもお一人おひとりの誕生日会は職員が特に力を入れ、ご本人の好きな物など、ユニットの職員とユニットのご利用者で一緒に作ってお祝いをしています。季節ごとイベント以外



にも、先日には「ご利用者に買い物を楽しんでもらいたい！」という職員の意見から、移動スーパードにきていただきました。その際、買い物を楽しむご利用者の笑顔や真剣な眼差しは、施設の中だけではなく、非日常的な空間の大切さを改めて実感する日でもありました。

職員は「どうすれば楽しく過ごしてもらえるのか？」ということを常に念頭におき、一日一日を大切にご利用者と関わっています。悪いことばかりに目を向けるのではなく、ご利用者の出来たことや改善できたことを一緒に共有し、喜び・楽しむことで仕事へのやりがいを感じさせてもらっています。

これからも、ご利用者が穏やかな気持ちで楽しく過ごせる居場所づくりを、職員・ご利用者とともに続けていきたいと思えます。

## ゆう・あいセンター

ゆう・あいセンターの自慢は何と言っても、講習会やイベントに、市民の方が基本無料で参加できることです。

手話や点字・点訳など、地域で学ぶことが難しい専門的な内容でも、テキスト代のみのご負担で講習会に参加できます。

陶芸・絵画・書道教室では、その道のプロからアドバイスを受けながら、創作活動ができるので、ご自身のイメージに、より近い作品に仕上がります。

一般的には法律相談は初回30分無料というものが多いですが、センターの法律相談は1回の相談時間が50分と、ゆとりがあり、何回相談されても無料なので、複雑に入り組んだ法的なお困りごとでも納得いくまでご相談いただけます。



ことがゆう・あいセンターの自慢です。

### うの花療育園

年に2回のふれあいデーは、地域のお子様からご高齢の方まで楽しんでいただける交流会です。地域福祉分野で活躍されている方々と協力して、毎回、趣向を凝らした企画を行い、ご好評をいただいています。

レクリエーションを中心に楽しめるデイサービスも、ご利用者の所得に応じた自己負担となっています

高槻における障がい福祉の拠点として、市民の方々が安心無料で、楽しく参加できる

コロナ禍での感染症対策を

行ないながら、子ども達が行事の経験を積み重ねていけるよう工夫する取り組みを続けています。行事の実施の仕方や保護者の参加方法に工夫を重ね、コロナ前と同じようにはできませんが、少しずつ行事を実施しています。職員も行事のあり方を考えるなか、どうすれば子ども達の成長を促しながら、楽しく参加できるか？保護者に園で大切にしている子ども達への支援をお伝えできるのか？保護者同士のつながりを深める機会をどう作るのか？職員も様々なアイデアを出しています。

新しい取り組みとしては、3学期の行事『おたのしみ会』



を動画配信で実施。今までは、子ども達が劇遊びを楽しむ場

面を、保護者に参観していただけていました。コロナ感染が拡大傾向となり、当初の予定から延期、更に延期…。保護者に子ども達の楽しむ姿を参観していただき、成長を感じていただきたい。考えた末、初めて動画配信。保護者からは「実際に参観できず残念だったが、家族で見ることができてよかった」「大変な時期ですが開催してくださりありがとうございます。ありがとうございました。」の声をいただきました。このように、子ども達、保護者、職員が共に笑顔で過ごせるようなアイデアを出して、実践につなげていけるところが、うちの施設の自慢です。

### 地域生活支援センター光

地域生活支援センター光は「施設入所支援・生活介護・短期入所支援・日中一時支援・

放課後等デイサービス」といったサービスを提供する施設です。一番の自慢は、施設で生活されているご利用者全員が高槻市内在住で地域生活の延長として光を選ばれた点にあります。

コロナ以前になりますが、「光といった施設で生活されているご利用者と、そこに面会に来られているご家族が一緒に過ごしている風景。」そういう場面がよく普通の光景として見られていました。

また、「ご利用者同士」または「ご利用者と職員」が光に入るずっと前から学校やサークル活動でつながりがあった。といった話も珍しくありませんでした。

コロナ禍で様々な制限がある中も、第6波まではご家族の面会を途切れさせることなく、多くのご家族が光に足を運んでくださいました。

コロナが1日でも早く終息し、この光の自慢でもある地

域に根ざした施設の光景が早く戻るよう、職員も一丸となって取り組みたいと思います。



## 聖ヨハネ 子どもセンター

めばえ教室では、年度末に保護者の方へのアンケートを実施しています。めばえ教室の療育プログラムについて、100%の方に「よかった」と回答していただきました。その中でも、「家ではできない遊びがよかった」「身体を動かす遊びがよかった」という感想が多くありました。

めばえ教室には広いプレイルームがあり、すべり台やジャングルジム、エアートランポリンなど、大型遊具を使って遊んでいます。すべり台から勢いよく滑ることや、エアートランポリンでダイナミックにジャンプをして、「楽しい！」「できた！」「もう1回やりたい！」と、身体をたくさん動かして活動を楽しむ様子や、「できたね！」「すごいね！」と褒められて、お子さ

まの嬉しそうな表情がみられます。身体を動かすことを通して、心もたくさん動かしてお友達や職員と一緒に活動して楽しいという経験を重ねています。

今後も、お子さまや保護者の方に喜んでいただける療育プログラムを提供していきたいです。



理事長 田尻忠邦

昨年6月に理事長に就任してようやく1年を迎えようとしています。この間、多くの方々とお会いしてきました。まずは、取引先の銀行や業者さん関係、そして新規の営業担当者さんは、金融関係、広告会社、人材派遣会社、ITソフト開発会社の大きくは、4つのカテゴリーに分類できます。私は、新規さんであってもスケジュールが許す限り、お会いさせていただき、お話しを聞くようにしています。これは、自分にとって傾聴するトレーニングだと捉えています。当然のことながら、営業担当者といえどもセールストークには上手下手があります。自分なりに話の仕方をA、B、Cランクで評価させてもらっています。Cランクの人とは、話を早々に切り上げる

ようにしています。Bランクの人は、その人の言いたいことは全て話してもらおうようにして、自分が関心を持った点については、質問をさせていだいたりもします。でも、商談にまでは至りません。Aランクの人には、セールス内容に関連のある施設長に繋いで、最終判断をしてもらうようにしています。

それからもう一つ営業担当者と話をするときに自分に課していることは、聖ヨハネ学園をアピールすることです。ヨハネ学園のブランドストーリーをいかに的確に相手に伝える内容で簡潔に話ができるかに毎回挑戦しています。

2022年度の法人事業方針の一番目に、「社会福祉法人聖ヨハネ学園のブランド復権」を掲げています。そして、その下位項目に「法人としての統一性の強化」と「法人の良さを再認識し、法人への帰属意識を高めてもらう」の2点

を挙げています。さらに付け加えますと、職員一人ひとりのみなさまには、「なぜ聖ヨハネ学園に就職したのか」、「なぜ今も辞めないで聖ヨハネ学園で働いているのか」について考えていただきたい。そしてマイ・ヨハネストーリーを語っていただきたい。さらには、法人の理念の「いのちがかがやくために」の4つの分野「ご利用者」、「地域」、「職員」、「職場」がかがやくために、何ができるか、何をしなければならぬかを是非考えてくださる事を願っています。

数多くある、児童養護施設、保育園、老人ホーム、障がい者支援施設、児童発達支援事業、放課後等デイサービス等の事業を競合他施設と差別化して、社会福祉法人聖ヨハネ学園が、提供できる付加価値が何か、ご利用者様に喜んでいただける声掛けは何か、笑顔になつていただけるサービスは何かを考えていただければ、自ずと聖ヨハネ学園のブランドの復権に繋がるはずで

です。聖ヨハネ学園が、130余年の間に培ってきた歴史と伝統に誇りを持ち、創始者リーラ・ブールの「愛と奉仕の精神」が、私たちのバックボーンとして貫いていることの認識を持って日々の業務に従事したいものです。



◎チャプレレン室からのたより

# リーラ・ブル先生を覚えながら

高槻聖マリア教会 牧師 司祭マルチン(ハン・サンドン)韓相敦

旧約聖書の人物の中でモーセは、指3本で数える有名な人物です。モーセは、ヘブライ人として生まれ、40歳までパオの宮殿で王子として生活しました。苦しんでいるヘブライ人を助けるために人を殺して、その時から逃亡生活が40年間続きました。モーセは、妻の父、ミデヤンの祭司エテロの羊の群れを飼っていました。ある日、神の山ホルブに來た時に主の使は、芝の中の炎のうちに彼に現れました。「さあ、私は、あなたをエジプトの王ファラオに遣わして、私の民、イスラエルの人々をエジプトから導き出させよう」。いろいろありましたがモーセは、神様の呼びかけに従ってイスラエルの人々をエジプトから救い出しました。80歳になって、希望も夢

も力も弱まった羊飼いであるモーセの献身により、イスラエル人々は救われました。

これをイエス様は、このように言われました。「一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。」このみ言葉にふさわしい方を今日、皆様と共に覚えたいと思います。

その方は、リーラ・ブル先生です。ブル先生は、アメリカ合衆国、ニューヨーク州のレバノンスプリングスの町で、裁判官である父と敬虔なクリスチャンである母の娘として1846年3月15日に生まれました。デトロイトのカトリックの高等学校を最優秀で卒業されたようです。

その後、長い年月を学校の

先生として努めておられました。ブル先生は、多くの知識や才能がありましたが、それにまさるのは、神様を信じる信仰生活であり、伝道に深い興味があつたことです。

ある日、大阪の聖バルナバ病院院長の婦人ランニングさんは、次のような手紙を受け取りました。「日本での伝道に関心が高まりました。しかし、病気の母と介護する妹を助けるために、日本伝道の心を胸深く秘めておかねばなりませんでした。母が、天に召されたのち、伝道師として日本に送られるように、伝道局に申請書を出しました。その時の年齢40歳と虚弱な身体では、無理であると許可を受けられませんでした。祈りを通して神様の召命を感じて、再び申請書を出しましたが、やはり許可をもらえませんでした。」

1887年、大阪の上流婦人の教育機関として婦人学習会を設立しました。その学習会は西洋文化を学ぶために、

学問と人格に優れたアメリカの婦人教師の推薦をジョン・マキム主教に依頼されました。ジョン・マキム主教は、1888年アメリカに帰られたとき、リーラ・ブル先生に会い、学習会の教師として最適任者として認めて、ニューヨークの伝道局に推薦して、任命を受けて4月13日グレイス教会で送別礼拝を捧げたそうです。1888年4月23日、サンフランシスコでゲイリック号に乗船され、船酔いしつつ10日後の5月13日に横浜に上陸されました。ニューヨークを出発してから1か月の道のりで、5月23日夜遅く、ウイリアムス主教と大阪に到着、翌日学習会を訪ねました。正式の授業は、28日から始まったそうです。その間、26日は聖歌を練習して、翌日学習会の一室を借り、礼拝を捧げられたようです。この日が、大阪聖ヨハネ教会の創立記念日になりました。

まもなく、伏見町の家を借り

(八面へつづく)

(七面からつづく)

で、大阪聖ヨハネ教会の礼拝堂として用いられました。

1889年大阪聖ヨハネ教会の婦人会の働きとして、石町に貧院(聖ヨハネ学園の前身)を設立されたのち、道修町に救児院と名前を変えて移転しました。このように始まった聖ヨハネ学園は、今は、児童養護施設、保育園、特別養護老人ホーム、障がい者支援センターなどの7つの施設を運営しております。

リーラ・ブル先生は、大阪聖ヨハネ教会の婦人会の会長として、主イエスの御旨に忠実な働き人であり、また聖ヨハネ学園の創立者でもありました。彼女は、いつも子どもたちの良き母でもありました。それから10年後、1899年9月から京都平安女学院の



リーラ・ブル先生

教師として勤められました。1901年休暇を得て、アメリカに帰られました。1902年9月から婦人宣教師として大阪聖ヨハネ教会に来られて務められました。1913年2回目の休暇で帰国されました。1919年3回目の休暇を取られました。その時、72歳でありながら、コロンビア大学で幼稚園の教授法を研究されたようです。

リーラ・ブルの婦人宣教師としての22年間のお働きは、大阪聖ヨハネ教会、聖パウロ教会、川口基督教会の婦人会と子どもたちの間で働かれました。また、聖ヨハネ学園の創立者であり、有力な経営者であり、子どもたちの親切な母親でもありました。1894年3月、博愛社が大阪に移って、経済難に陥ったとき、アメリカの知人に支援を求め、手紙を送って多くの支援を受けたそうです。1899年博愛社が社団法人になったとき、ブル先生は、役員として経営に参与されました。当

時博愛社は、財政的に不完全でしたので、給料を寄付して無償でのお働きを喜びとされたようです。

川口商業学校で長い間、英語を教えて個人的な教え子を多く持っておられました。1924年3月15日の78歳の誕生日には、日本にいられて36年の感謝会が開かれました。その時には、200人余りの人が集まったそうです。3月19日に急性肺炎でバルナバ病院に入院しましたが、危篤状態でした。その話を聞いた人々は、病床に集まって祈りました。目をさましたブル先生は、「あなた方は、まだここにいてくださるのですか。私は、神様に祈っておりますから安心して、休んでください。」これが、ブル先生の最後の言葉です。

1924年3月20日未明、神様のもとに召されて行かれました。3月22日、この川口基督教会で名出主教様の司式で葬送式が行われたそうです。今は豊中市の服部霊園外

国人墓地におられます。

ブル先生の人生は、まさに一粒の麦として、大阪の地に落ちて死なれ、大きな実を結んでおられます。これを今でも私たちは、目の当たりにしています。このリーラ・ブル先生を覚えたいと思います。  
※2022年3月9日

川口基督教会における教区関係  
教役者逝去者記念聖餐式での説教

- 社会福祉法人 聖ヨハネ学園 (法人本部)  
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 TEL&FAX 072-687-0548
- 聖ヨハネ学園 (児童養護施設)  
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-687-0541 FAX 072-689-3623
  - 下田部保育園 (保育所)  
〒569-0046 高槻市登町1番1号 ☎ 072-671-9960 FAX 072-673-8039
  - ミス・ブル記念ホーム (特別養護老人ホーム/デイサービスセンター/ケアプランセンター/ヘルパーステーション/地域包括支援センター/エンゼル園)  
〒569-1031 高槻市松が丘1丁目21番9号 ☎ 072-688-5138 FAX 072-688-4478
  - ゆう・あいセンター (高槻市事業受託/地域活動支援事業Ⅱ型・特定指定相談支援事業)  
〒569-0075 高槻市城内町1番11号 ☎ 072-672-0267 FAX 072-661-3508
  - うの花療育園 (高槻市指定管理者事業・児童発達支援センター)  
〒569-1131 高槻市郡家本町5番5号 ☎ 072-685-3803 FAX 072-685-3805
  - 地域生活支援センター光 (障がい者支援施設/放課後等デイサービス)  
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-680-1110 FAX 072-691-8300
  - 聖ヨハネ子どもセンター (高槻市乳幼児療育事業受託/児童発達支援/放課後等デイサービス事業/障がい児相談支援事業)  
〒569-1032 高槻市宮之川原2丁目9番1号 ☎ 072-687-7720 FAX 072-687-7722